

令和 8 年 1 月 5 日

各ジム代表者様

KNOX 実行委員会

桂 爽淳

KNOX 開催のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、格闘技イベント **KNOX**（ノックス）を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。KNOX は、判定による勝敗決定を行わず、「倒して決着をつける」ことを唯一の答えとする思想のもとに設計された格闘技イベントです。選手一人ひとりの覚悟、日々の鍛錬、そして勝利への意志を最大限に尊重し、明確な決着のみが存在する競技空間の創出を目的としております。

つきましては、貴ジム所属選手の皆様にも本大会の趣旨をご理解賜り、ご参加につきましてご検討いただけましたら幸いに存じます。大会概要、競技規定、エントリー方法等の詳細につきましては、別途資料にてご案内申し上げます。

末筆ながら、貴ジムの益々のご発展と、所属選手の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

敬具

記

- 日時 令和 8 年 3 月 29 日 10 時開場
- 場所 MIYAMAX みやま市総合市民センター 多目的ホール
- 応募締切 令和 8 年 2 月 28 日まで
- 問合せ先 電話 090-3194-0550
メール knox@the-true-translate.com
LINE 右下の QR コードを読み取り、ご連絡ください。



以上

KNOX EPISODE-0 — IGNITE —

選手エントリー案内

KNOX 実行委員会は、下記の通り「KNOX EPISODE-0 — IGNITE —」を開催いたします。本大会への出場を希望される選手は、本案内を必ずご確認ください。所定の方法にてエントリーを行ってください。

【大会概要】

大会名 KNOX EPISODE-0 — IGNITE —

日時 2026 年 3 月 29 日（日）10:00 集合／計量開始

会場 MIYAMAX（みやま市総合市民センター）

入場料 無料

※本大会はプレイベントのため、観客の入場は無料となります。

【参加費】

本大会への参加費は **3,300 円（税込）** となります。

※エントリー時点での決済は不要です。

※マッチメイク（試合）が決定した選手のみ、決済手続きを行っていただきます。

※決済方法については、マッチメイク確定後、エントリー時にご記入いただいたメールアドレス宛にご案内いたします。

【エントリー方法】

エントリーは、LINE の QR コードを読み取り、KNOX 公式サイトより出場申込を行ってください。

※電話・メール・SNS の DM 等での受付は行っておりません。

※申込内容に不備がある場合、エントリーを受理できない場合がありますのでご注意ください。

【申込締切】

2026 年 2 月 28 日（土）まで

※本大会は総試合数 25 試合を予定しております。

※申込状況により、締切日前であっても早期にエントリーを終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

【装備品について】

本大会では、すべての装備品をご自身でご用意ください。

※競技規則には装備品貸出に関する記載がありますが、本大会では貸出は行いません。

※計量後に用具チェックを実施します。

※破損・劣化が著しい装備品は、安全上の理由から使用を認めない場合があります。

【入場曲について】

各 S クラスの一部試合 において、入場曲を用いた演出を予定しております。

※対象となる試合については、主催者より個別にご相談いたします。

※原則として、KNOX ルール S クラスに出場する選手は「入場曲あり」となります。

【KNOX ルール S クラス出場選手について】

KNOX ルール S クラスのマッチメイクが成立した選手は、

計量終了後に写真撮影を行います。

※大会当日は、撮影用のコスチュームをご用意ください。

※撮影した写真は、大会広報・告知等に使用される場合があります。

【ルール・クラス】

競技	クラス	試合時間	インターバル	ヘッドギア	グローブ	レガース
KNOX (寝技なしMMA)	S	2分×3R	1分	無し	※大会指定OPG	無し
	A	2分×2R	30秒	着用	※大会指定OPG	着用
キックボクシング	S	3分×2R	1分	任意	14oz	着用
	A	2分×2R	30秒	着用	14oz	着用
	B	2分×1R	-	着用	14oz	着用
ボクシング	S	3分×2R	1分	任意	14oz	-
	A	2分×2R	30秒	着用	14oz	-
	B	2分×1R	-	着用	14oz	-

※3月29日大会の指定OPGは「ISAMI製バウンドグローブ」となります。次回大会よりOfficialグローブとなります。

【大会申込について】

本大会への出場を希望される選手は、右下の LINE 公式アカウント QR コードを読み取り、案内に従って公式サイトより大会申込を行ってください。

なお、QR コード以外の方法による申込は受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。



KNOX 競技規則書

2026 年 1 月版
KNOX 実行委員会

目次

第 1 章 総則 第 1 条 目的と基本方針 第 2 条 階級規定 第 3 条 計量規定 第 4 条 セCOND規定

第 2 章 勝敗の決定 第 5 条 勝敗の種別 第 6 条 KO（ノックアウト） 第 7 条 ダウンおよび TKO 規定 第 8 条 レフェリーストップ 第 9 条 ドクターストップ 第 10 条 試合放棄（タオル投入） 第 11 条 反則および罰則

第 3 章 KNOX ルール規定 第 12 条 クラス区分 第 13 条 装備規定 第 14 条 有効な攻撃 第 15 条 禁止行為（反則）

第 4 章 キックボクシングルール規定 第 16 条 クラス区分 第 17 条 装備規定 第 18 条 有効な攻撃 第 19 条 禁止行為（反則）

第 5 章 ボクシングルール規定 第 20 条 クラス区分 第 21 条 装備規定 第 22 条 有効な攻撃 第 23 条 禁止行為（反則）

第 1 章 総則

第 1 条（目的と基本方針）

- 本大会は、判定による勝敗決定を排除し、完全決着を目指すことを基本方針とする。
- 試合に臨む選手の熱意、覚悟、および日々の準備を尊重し、第三者の主観による判定解釈を行わない。
- 勝敗は、本規則「第 2 章 勝敗の決定」で定めた方法によってのみ決定される。選手には、勝利を望む強い意思および明確な決着を目指す試合運びが求められる。

第 2 条（階級規定）

- 本大会の階級は以下の通り定める。
 - アトム級： -47.6kg
 - ストロー級： -52.2kg
 - フライ級： -56.7kg
 - バンタム級： -61.2kg
 - フェザー級： -65.8kg
 - ライト級： -70.3kg
 - ウェルター級： -77.1kg

- ミドル級： -83.9kg
 - ライトヘビー級： -93.0kg
 - ヘビー級： 契約体重なし
2. 大会本部の判断により、上記以外の契約体重（例：-58kg 契約など）を実施する場合がある。

第3条（計量規定）

1. 計量は当日計量とし、選手は各大会において指定された時間・場所に集合しなければならない。
2. 計量に失敗した選手は、対戦選手および大会本部の承認が得られた場合に限り、試合を実施できるものとする。
3. 前項に基づき試合を実施する場合、計量に失敗した選手はペナルティとして「1ダウン」が宣せられた状態で試合を開始する。
4. 計量失敗時の公式記録について、対戦相手が勝利した場合のみ「有効試合」とする。計量失敗者が勝利、または引き分けとなった場合は「無効試合（ノーコンテスト）」とする。

第4条（セコンド規定）

1. セコンドの人数は2名までとする。
2. セコンドは、スポーツマンシップに則り、以下の行為を行ってはならない。
 - 試合進行を妨害する行為
 - 反則行為を助長する指示や言動
 - レフェリー、相手選手、大会関係者、観客等に対する威圧的・侮辱的な言動
 - 試合中にリング内へ立ち入る行為
 - ラウンド中、選手に接触する行為
 - その他、レフェリーが危険もしくは試合進行を妨げると判断した行為
3. レフェリーは、悪質なセコンドに対し退場を命じることができる。

第2章 勝敗の決定

第5条（勝敗の種別）

勝敗は以下のいずれかによって決する。なお、KO・TKO・反則失格の認定は、レフェリーおよび大会ドクターの判断を最終決定とする。

1. KO（ノックアウト）
2. TKO（テクニカルノックアウト）： 2ダウン、レフェリーストップ、ドクターストップ、セコンドからのタオル投入。
3. 反則失格
4. 勝者なし： 規定時間内に決着がつかない場合は、判定を行わず「勝者なし」と

する。

第6条 (KO)

1. KO（ノックアウト）とは、有効な攻撃によって選手がダウンし、レフェリーによるカウント内に競技を再開できない状態をいう。KOが宣告された場合、当該選手は即時敗者となる。
2. 有効な攻撃を受けてダウンが発生した場合、レフェリーは直ちにカウントを開始する。カウントは「1」から「10」まで行う。
3. 選手はカウント「8」までに立ち上がり、ファイティングポーズをとってレフェリーの指示（前進、ガードの確認等）に正確に応じなければならない。
4. 10カウント以内にレフェリーが競技続行可能と判断した場合のみ試合を再開する。カウント「10」に達した時点で競技続行が不可能と判断された場合はKO負けとする。

第7条 (ダウンおよびTKO規定)

1. **2ダウン制：** 1試合中に2回ダウンした時点でTKO負けとする。
2. **ダウンの定義：** 以下のいずれかに該当し、レフェリーがダウンと判断した場合をいう。
 - 有効な攻撃を受け、足の裏以外がマットについた場合。
 - ロープにもたれかかるなどして、倒れるのを防いだと判断された場合。
 - **スタンディングダウン：** 打撃のダメージにより戦意喪失、または防御不能となり、レフェリーが危険と判断した場合（倒れていなくてもダウンとしてカウントする）。
 - クリーンヒットを受け、レフェリーが危険と判断した場合。

第8条 (レフェリーストップ)

1. レフェリーは、以下のいずれかに該当すると判断した場合、選手の意思にかかわらず試合を停止し、当該選手をTKO負けとすることができる。
 - 有効な攻撃を受け続け、防御動作が著しく低下している場合。
 - 連続したダメージにより、反撃の意思または能力が確認できない場合。
 - スタンディングダウンを宣告すべき状態が継続し、競技続行が危険な場合。
 - ダウン後、レフェリーの指示に従えない、または安全に試合再開できない場合。
 - 明らかな実力差が生じ、これ以上の競技継続が選手の安全を著しく損なう場合。
 - その他、安全管理上の観点から、競技を継続させることが不適切と判断した場合。
2. レフェリーストップの判断に対し、選手およびセコンドはいかなる異議申し立て

も行うことはできない。

第9条（ドクターストップ）

1. 大会ドクターは、試合中またはラウンド間において、以下の状態を確認した場合、直ちに試合の中止をレフェリーに要請することができる。
 - 出血、腫脹、裂傷、骨折の疑い等により、競技続行が医学的に危険と判断される場合。
 - 脳震盪が疑われる症状（意識障害、視線の不安定、反応の遅れ等）が認められる場合。
 - 過度な疲労、脱水、痙攣等により、生命または健康に重大な危険が及ぶと判断される場合。
 - その他、選手の安全管理上の観点から、競技継続が不適切であると判断した場合。
2. ドクターの中止要請があった場合、レフェリーは直ちに試合を停止し、当該選手をTKO負けとする。ドクターストップの判断は最終決定とし、いかなる異議申し立ても認めない。

第10条（試合放棄）

セコンドは、担当選手の安全を最優先に考慮し、タオルを投入して試合を放棄することができる。タオルが投入された時点で、レフェリーは直ちに試合を停止し、当該選手をTKO負けとする。タオル投入の判断について、選手本人の意思は優先されない。

第11条（反則および罰則）

1. 反則行為に基づき、レフェリーは以下の反則裁定を行う。
 - **注意**（口頭での指導）
 - **減点**（1ダウンとしてカウントする）
 - **失格**（試合の即時終了、敗北）
2. 以下の行為は、競技ルールを問わず共通の反則行為とする。
 - 故意に倒れ続ける行為
 - 時間稼ぎを目的としたクリンチ・逃避行為
 - 消極的な戦い方（ノン・コンバティブ）
 - 試合の中断を誘発する意図的な行為
 - 虚偽のローブローのアピール
 - 体への過度なワセリン等、潤滑剤の塗布
 - その他、レフェリーが試合進行上望ましくないと判断した行為

第3章 KNOX ルール規定

第12条（クラス区分）

※以下のクラス目安は基準である。最終的には所属ジム代表者等の指導者の判断を仰

ぎ、適切なクラスにエントリーすること。

1. S クラス（上級者・プロ志望）

- **目安：** 格闘技試合経験 3 戦以上、プロファイターを志望する者（経験試合数問わず、他団体プロファイターの応募可）。
- **試合時間：** 2 分 × 3 ラウンド（インターバル 1 分）
- **反則：** 第 15 条に定めるクラス共通反則。

2. A クラス（中級者）

- **目安：** 格闘技試合経験 1 戦以上。勝利経験があり、技術向上を目指す者。または他格闘技（空手・ボクシング等）の試合経験が豊富な者。
- **試合時間：** 2 分 × 2 ラウンド（インターバル 30 秒）
- **反則：** クラス共通反則、および顔面への膝蹴り。

第 13 条（装備規定）

1. **必須装備（S クラス）：** オープンフィンガーグローブ（大会指定）、マウスピース、ファウルカップ、ハーフパンツ。
2. **必須装備（A クラス）：** オープンフィンガーグローブ（大会指定）、レガース、膝サポーター（布製）、マウスピース、ファウルカップ、ハーフパンツ、ヘッドギア。
3. **任意装備：** A クラスのみ T シャツもしくはラッシュガード着用可。S クラスは着用不可。
4. **貸与品：** ヘッドギア、グローブ、レガースは大会当日に大会本部より無償貸与する。
 - 個人持ち込みのグローブ等は、大会指定品かつレフェリーの承認を得た場合のみ使用可とする。過度な損傷や劣化をした防具の使用は認めない。
5. **持参品：** 膝サポーター、マウスピース、ファウルカップ、ハーフパンツは各選手が持参すること。
 - 膝サポーターは、金具やプラスチックを含まない布製またはネオプレーン製の柔らかいものに限る。

第 14 条（有効な攻撃）

本ルールにおける有効な打撃とは、許可された技によって正しく相手に当たった攻撃をいう。

- **パンチ：** グローブのナックルパートによる攻撃（ジャブ、ストレート、フック、アッパー等）。
- **キック：** 足および脛による攻撃（前蹴り、ミドルキック、ハイキック、膝蹴り等）。
- **投げ技：** タックル、腰投げ、足を掛けて倒す行為など。

- **パウンド**：倒れている相手への打撃（顔面へのナックルパートでの打撃、ボディへの膝蹴り等）。
- **回転技**：バックブロー、バックスピッキング等。
 - バックブローはグローブ部分での打撃のみ有効とし、前腕部（肘から手首）での打撃は反則とする。

第 15 条（禁止行為）

選手が以下の行為を行った場合、レフェリーは「注意」「減点」「失格」を命じることができる。

1. **攻撃部位・技に関する反則**
 - 頭突き（バッティング）、目潰し（サミング）
 - 肘打ち（エルボー）
 - 金的への攻撃（ローブロー）
 - 後頭部、脊髄（背骨）への直接的な攻撃
 - グランド状態での顔面への膝蹴り
 - 倒れている相手の顔面を蹴る行為（サッカーボールキック）
2. **組技・ホールディングに関する反則**
 - 過度なホールディング（防御目的で抱きつき、離れない行為）
 - ロープを掴んでの攻撃や防御
 - バスター等、相手を持ち上げてマットに叩きつける行為
 - 締め技（チョークスリーパーやギロチンチョーク等）
 - 関節技（腕十字、ヒールフック等）

第 4 章 キックボクシングルール規定

第 16 条（クラス区分）

※以下のクラス目安は基準である。最終的には所属ジム代表者等の指導者の判断を仰ぎ、適切なクラスにエントリーすること。

1. S クラス（上級者・プロ志望）

- **目安**：格闘技試合経験 3 戦以上、プロファイターを志望する者（他団体プロファイター応募可）。
- **試合時間**：3 分 × 2 ラウンド（インターバル 1 分）
- **反則**：クラス共通反則。
- **組技制限**：掴んでからの攻撃は 1 回まで（連打禁止）。

2. A クラス（中級者）

- **目安**：格闘技試合経験 1 戦以上。勝利経験があり、技術向上を目指す者。または他格闘技経験が豊富な者。
- **試合時間**：2 分 × 2 ラウンド（インターバル 30 秒）

- 反則： クラス共通反則、および顔面への膝蹴り。
- 組技制限： 掴んでからの攻撃は1回まで（連打禁止）。

3. B クラス（初心者）

- 目安： 格闘技試合経験3戦以内（デビュー戦～初心者）。
- 試合時間： 2分 × 1ラウンド
- 反則： クラス共通反則、および顔面への膝蹴り、回転技（バックブロー等）。
- 組技制限： 掴んでからの攻撃は1回まで（連打禁止）。

第17条（装備規定）

1. 全クラス共通装備： グローブ（14oz）、レガース、膝サポーター（布製）、マウスピース、ファウルカップ、ハーフパンツ。
2. ヘッドギア： A・Bクラスは着用必須。Sクラスは任意。
3. ウェア： Tシャツもしくはラッシュガードは全クラス任意着用可。
4. 貸与・持参品： 第13条4項および5項に準ずる（ただし、グローブは14ozを使用する）。

第18条（有効な攻撃）

- パンチ： グローブのナックルパートによる攻撃（ジャブ、ストレート、フック、アッパー等）。
- キック： 足および脛による攻撃（前蹴り、ミドルキック、ハイキック、膝蹴り等）。
- 回転技： バックブロー、バックスピニングキック等（※Bクラスは禁止）。
 - バックブローはグローブ部分での打撃のみ有効とし、前腕部での打撃は反則とする。

第19条（禁止行為）

選手が以下の行為を行った場合、レフェリーは「注意」「減点」「失格」を命じることができる。

1. 攻撃部位・技に関する反則
 - 頭突き（バッティング）、目潰し（サミング）
 - 肘打ち（エルボー）
 - 金的への攻撃（ローブロー）
 - 後頭部、脊髄（背骨）への直接的な攻撃
 - 関節技、締め技、投げ技（タックル、腰投げ、足を掛けて倒す行為など）
 - 倒れている相手、または立ち上がろうとしている相手への攻撃
2. 組技・ホールディングに関する反則
 - 過度なホールディング（防御目的で抱きつき、離れない行為）
 - ロープを掴んでの攻撃や防御

- A・B クラスにおける、相手を掴んだ状態での2回以上の連打（首相撲からの連打）
 - 蹴り足を掴んだ（キャッチした）まま、3歩以上移動する行為
-

第5章 ボクシングルール規定

第20条（クラス区分）

※以下のクラス目安は基準である。最終的には所属ジム代表者等の指導者の判断を仰ぎ、適切なクラスにエントリーすること。

1. S クラス（上級者・プロ志望）

- 目安： 格闘技試合経験3戦以上、プロファイターを志望する者（他団体プロファイター応募可）。
- 試合時間： 3分 × 2ラウンド（インターバル1分）
- 反則： クラス共通反則。

2. A クラス（中級者）

- 目安： 格闘技試合経験1戦以上。勝利経験があり、技術向上を目指す者。または他格闘技経験が豊富な者。
- 試合時間： 2分 × 2ラウンド（インターバル30秒）
- 反則： クラス共通反則。

3. B クラス（初心者）

- 目安： 格闘技試合経験3戦以内（デビュー戦～初心者）。
- 試合時間： 2分 × 1ラウンド
- 反則： クラス共通反則。

第21条（装備規定）

1. 全クラス共通装備： グローブ（14oz）、マウスピース、ファウルカップ、ハーフパンツ。
2. ヘッドギア： A・Bクラスは着用必須。Sクラスは任意。
3. ウェア： Tシャツもしくはラッシュガードは全クラス任意着用可。
4. 貸与・持参品： 第13条4項および5項に準ずる（ただし、グローブは14ozを使用し、レガース・膝サポーターは不要とする）。

第22条（有効な攻撃）

- パンチ： グローブのナックルパートによる攻撃（ジャブ、ストレート、フック、アッパー等）。

第23条（禁止行為）

選手が以下の行為を行った場合、レフェリーは「注意」「減点」「失格」を命じることができる。

1. 攻撃部位・技に関する反則

- 頭突き（バッティング）、目潰し（サミング）
 - 蹴り技全般（キック、膝蹴り）
 - 肘打ち（エルボー）
 - 金的への攻撃（ローブロー）
 - 後頭部、脊髄（背骨）への直接的な攻撃
 - 関節技、締め技、投げ技（タックル、腰投げ、足を掛けて倒す行為など）
 - 倒れている相手、または立ち上がろうとしている相手への攻撃
2. 組技・ホールディングに関する反則
- 過度なホールディング（防御目的で抱きつき、離れない行為）
 - ロープを掴んでの攻撃や防御

附則

1. 本規則は、2025 年 1 月 5 日より施行する。
2. 本規則に定めのない事項については、その都度、大会本部およびレフェリーが協議の上、決定する。
3. 本規則は、安全管理または競技運営上の必要に応じて、予告なく改定される場合がある。

競技	クラス	試合時間	インターバル	ヘッドギア	グローブ	レガース
KNOX (寝技なしMMA)	S	2分×3R	1分	無し	※大会指定OPG	無し
	A	2分×2R	30秒	着用	※大会指定OPG	着用
キックボクシング	S	3分×2R	1分	任意	14oz	着用
	A	2分×2R	30秒	着用	14oz	着用
	B	2分×1R	-	着用	14oz	着用
ボクシング	S	3分×2R	1分	任意	14oz	-
	A	2分×2R	30秒	着用	14oz	-
	B	2分×1R	-	着用	14oz	-

※3月29日大会の指定OPGは「ISAM製バウンドグローブ」となります。次回大会よりOfficialグローブとなります。

保護者同意書・誓約書

KNOX 実行委員会 御中

私は、下記未成年者の親権者（法定代理人）として、格闘技大会「KNOX」（以下「本大会」という）への出場に関し、以下の各条項を熟読し、十分に理解したうえで、自己の自由意思により同意および誓約いたします。

第1条（出場同意）

私は、未成年者本人が自らの意思により本大会への出場を希望していることを確認し、親権者としてこれを正式に承諾します。

第2条（競技の危険性の理解）

私は、格闘技競技がその性質上、打撃、投げ、転倒、接触等による負傷、骨折、脳震盪、後遺障害、意識障害等の重大な身体的損害、最悪の場合、生命に関わる結果が生じる等、重大な危険性を伴うことを十分に理解しています。また、これらの危険性は、完全には回避できないことを理解し、出場を了承します。

第3条（自己責任原則および危険負担の承諾）

私は、本大会への出場が、未成年者本人および親権者自身の判断と責任に基づくものであることを確認し、本大会への参加に内在する一切の危険について、自らが負担することを明確に承諾します。

第4条（免責および損害賠償請求権の放棄）

私は、以下の場合を含め、本大会への出場または関連行為に起因して未成年者本人に生じた一切の負傷、事故、疾病、後遺障害、死亡、その他の損害について、主催者、運営スタッフ、レフェリー、ドクター、会場提供者、スポンサーに対し、主催者の故意または重過失が認められる場合を除き、いかなる法的責任の追及、損害賠償請求、補償請求、訴訟その他一切の請求を行わないことを、同意します。

第5条（健康状態および適格性の保証）

私は、未成年者本人について、医師から運動・格闘技競技を禁止されていないこと、出場に支障をきたす持病、障害、既往症がない、または主催者に申告済みであること、本大会のルールおよび競技内容を理解し、参加に耐えうる心身状態であること、万一、虚偽申告または未申告事項が判明した場合、主催者が出場取消・試合中止等の判断を行うことに異議がないことを同意します。

第6条（ルール・指示の遵守）

私は、未成年者本人が、本大会の競技規則、安全規定および、主催者、レフェリー、ドクター、スタッフのすべての指示に無条件で従うことに同意します。

第7条（中止・停止判断への同意）

私は、主催者、レフェリーまたはドクターが、安全上の理由により試合の中止、停止、棄権を判断した場合、その判断に異議を述べず、いかなる請求も行わないことに同意します。

第8条（映像・写真・記録物の使用）

私は、本大会において撮影・収録された未成年者本人の氏名、映像、写真、音声、試合結果その他の記録が、主催者の裁量により、広報、宣伝、配信、記録、商業利用を含む目的で、期間および地域の制限なく使用されることに同意します。

第9条（協議および管轄）

本同意書に定めのない事項または疑義が生じた場合には、誠意をもって協議のうえ解決を図るものとし、訴訟が必要となった場合には、主催者所在地を管轄する日本の裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

【未成年者（選手）】

氏名：_____

【親権者（法定代理人）】

氏名：_____

続柄：_____

住所：_____

電話番号：_____

署名：_____（自署）

作成日：_____年_____月_____日

以上